



市民とボランティア・NPO団体をつなぐー

## 「生駒市民が選択する市民活動団体支援制度」がスタート！

市内では、さまざまな分野で活動するボランティアなどのNPO（非営利活動を行う団体の総称です）団体がたくさんあります。そうした団体の活動の公益性や必要性を最も感じておられるのは、活動の近くにおられる市民の皆さんです。

生駒市では、市民の皆さんの思いを直接反映させ、市民活動団体が実施する社会貢献活動を支援できるよう、新しい制度「生駒市民が選択する市民活動団体支援制度」を創設しました。

### 制度のポイント

1. この制度に対して、市民活動団体が申請した事業に支援金（補助金）を交付します。
2. 市民（※1）が支援したい市民活動団体の事業を選択し、その結果に基づき支援金額（補助金額）が決定します。

### 支援金の算出方法

1. 「市民1人当たりの支援額」（※2）を6月中旬に発表します。支援したい団体を選択した市民の数に「市民1人当たりの支援額」をかけたものが、団体への支援額となります。市民は、3団体まで選択できます。（※3）
2. 選択については、支援したい団体を選択するか、生駒市市民活動支援基金への積立を指定するかのどちらかとしています

### 支援対象となる事業

1. 平成23年4月1日～平成24年3月31日までに実施し、完了される事業が対象となります。
2. 支援対象となる事業は、1団体1事業に限ります。

### 今後の予定

1. 「広報いこま」（5月1日号）にてお知らせします。
2. 「制度説明会」－事業提案を考えておられる団体向けに開催します。  
1回目 5月13日（金）午前9時30分～  
2回目 5月14日（土）午後1時～  
※同じ内容で2回開催します。場所は、生駒市コミュニティセンターです。



この制度の申請に必要な書類作りに役立つ講座情報は、p2をご覧ください

※1：選択の届出を行う日の年度の6月1日現在、生駒市の住民基本台帳に記録されているか、外国人登録原票に登録されている住所が生駒市にある年齢18歳以上の人

※2：「市民一人当たりの支援額」とは、選択の届出を行う日の年度の6月1日現在の個人市民税の総額の1%相当額を同日現在の18歳以上の市民で割り戻して算出したもの

※3：1団体を選択した場合は（※2）の全額、2団体を選択した場合はその2分の1相当額、3団体を選択した場合はその3分の1相当額が選択した団体への支援額となり、その額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額

# ボランティア・NPOのための スキルアップ講座 開催します！

参加者募集

ボランティア・NPO活動に必要な知識や技術を体系的に学んでいただく、連続講座です。

「市民が選択する市民活動団体支援制度」(以下「支援制度」)申請に必要な書類作りに役立ちます。

**対象** 市内に住むか市内へ通勤・通学している、または市内で公益活動をしている人

**ところ** コミュニティセンター会議室

**定員** 70名(申込順)

**受講料** 無料

**託児** 2歳～就学前のお子さんの保育を希望される方は、各回実施の10日前までに申し込んでください

**申し込み・問い合わせ** 4月11日(月)から電話、ファクスか電子メールで、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、第1・2・4回目の講座の希望日時を明らかにし、所属団体があれば団体名をご記入のうえ、市民活動推進センターららポートへ  
(TEL0743-75-6000、FAX0743-75-0151、e-mail: lalaport@city.ikoma.lg.jp)

※第1回目の講座終了後「支援制度」へ事業提案をお考えの団体を対象に説明会を実施します。

	日時	内容
第1回	①5月13日(金) 午前9時30分～ 10時30分 ②5月14日(土) 午後1時～2時	「ボランティアとは・NPOとは、市民と行政との協働とは」 ◆講師:(特活)奈良NPOセンター 副理事 村上良雄さん ※①②同じ内容、いずれか参加
第2回	①5月24日(火) ②5月25日(水) 午後1時～4時	「魅力的な事業企画書、収支予算書の作り方」 ◆講師:(社福)大阪ボランティア協会 NPO推進センター 江渕桂子さん ※①②同じ内容、いずれか参加 ※終了後「支援制度」提出書類の概要説明も行います(30分間、希望者のみ)
第3回	6月3日(金) 午前10時～ 午後3時	「効果的なチラシを作る」 第2回で作成した企画書を元にチラシを作成 ◆講師:兵庫県立男女共同参画センター 情報アドバイザー 角本勢津子さん
第4回	①6月10日(金) 午前10時～正午 ②6月10日(金) 午後1時～3時 ③6月11日(土) 午後1時～3時	「プロが教える! 活動紹介PRビデオ作成のコツ」 ◆講師:近鉄ケーブルネットワーク(株) 番組制作スタッフ・市民放送局メンバー ※①②③同じ内容、いずれか参加

## もちつき de コラボ!

2月13日(日)、生駒市福祉センターで「ひまわりまつり」(主催:ひまわりの集い)が開催された。

前々日、生駒でも珍しく雪が降り積もり、天候が心配されたが、当日は快晴。参加者は餅つきを体験し、つきたてのお餅を楽しんだ。

「団体で餅つきをしたいが、杵と臼を借して下さるところに、お心あたりはないですか?」との「ひまわりの集い」代表・立木さんの呼びかけに、「いこま棚田クラブ」の新居さんが協力することになった。

新居さんは、「いこま棚田クラブ」が活動する西畑町の自治会に相談。臼と他の道具は自治会館より、杵は道願寺(西畑町)より、どちらも快く貸していただけることになった。新居さんは、餅つき経験の少ない「ひまわりの集い」の若い会員の為に作業手順の説明書を準備

### ひまわりの集い

知的ハンディキャップをもつメンバーの外出イベントやサロンを企画運営

### いこま棚田クラブ

生駒市西畑町の棚田・里山林で景観整備・援農・自然環境体験会・自主農園活動

し、前日の準備や当日の作業にも参加した。

立木さんは「幼稚園くらいの時、餅つきをしたことはあったが、どんな準備や作業があるのかよく分からなかった。とても力強いサポートをしていただけた」と話す。

「ひまわりの集い」の中でも餅つき経験のある「もちつき隊」がリードし、参加者全員で合計10升のもち米をつきあげ、まるめる作業を楽しんだ。餅は、きなこ、砂糖醤油、大根おろしをつけたり、ぜんざいにして食べ、「つきたてで柔らかい」「自分でついたお餅は美味しい」と何杯もおかわりをする参加者もあった。お餅を食べながら、今回のコラボについて説明があり、新居さんからは、「いこま棚田クラブ」の活動紹介があった。普段は、活動場所も活動分野も違う、ららポート登録団体同士の素敵なコラボとなった。

## 見守り保育ボランティア調整依頼

- 依頼件数 36件（内12件取り下げ）
- 活動ボランティア人数 のべ122名
- 活動日数 のべ26日

地域による子育て支援の一環として、小さな子どもをもつ保護者の社会参加の支援活動をサポートしています。

### ららポートでは

市内幼稚園PTAや公益活動団体などが、講座や行事を実施する際、見守り保育のマッチングやコーディネートをしています。

子育て支援を目的とする登録団体や個人登録ボランティアに活動条件を紹介し、活動希望者を募ります。お子さんの人数・年齢など詳細が決まった時点で、安心安全に見守れる人数を考え調整していきます。

## 施設プログラムに関わるボランティア調整依頼

- 調整依頼 7件
- 活動ボランティア人数 のべ30名

高齢者や障がい者を地域住民で支え合い、助け合うやさしいまちづくりの推進をサポートしています。

### ららポートでは

高齢者施設での喫茶や季節行事の際の介助、プログラムのお手伝い、話し相手、障がい者施設でのプログラム支援などを調整しています。高齢者や障がい者が、自立した生活がおくれるよう支援することに関心がある登録団体や、個人登録ボランティアへの活動の紹介から実施までサポートしています。

## レクリエーションボランティア調整依頼

- 依頼件数 8件
- 活動グループ のべ10団体
- 活動個人ボランティア 1名
- 活動日数 のべ14日

子どもや高齢者を対象としたレクリエーション活動を通じて、地域コミュニティづくりをサポートしています。

### ららポートでは

高齢者施設での季節行事や自治会サロンの行事の際、趣味や特技をいかしてレクリエーションによるボランティア活動を行う公益活動団体や、個人登録ボランティアのマッチング、コーディネートをしています。

## その他のボランティア調整依頼

- 調整依頼 8件
- 活動ボランティアグループ 8団体
- 活動個人ボランティア 1名

たとえば・・・手作り介護用品を作っている団体や、地域の自主防災訓練のサポートをしてくれる団体について、障害者の外出支援、イベントと一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフなどの調整依頼がありました。

## 補助金・助成金に関する相談

- 相談件数 13件

ボランティアなどNPOの支援を目的とした補助金・助成金の情報提供や、申請書類の作成等の支援を行いました。

## 「学生ボランティア」事業

- 応募人数 6人
- のべ活動日数 17日
- 活動分野 【国際交流】【子育て支援】【障がい者支援】【環境】

将来を担う若い世代の、地域コミュニティへの関心を高め、市民の様々な活動に参加するきっかけづくりをサポートしています。

### ららポートでは

地域では、様々な課題やニーズに対して多くのボランティアが関わり支え合っています。

こうした地域の現状を知り、市民公益活動への関心を高める機会として、NPO活動に関心のある学生を対象に、ららポート登録団体の活動への体験参加を調整しています。

## 登録団体情報発信支援

- 参加事業 「環境フェスティバル」5団体ブース展示  
「福祉と健康のつどい」5団体パネル展示

市が主催する事業開催時に、事業目的に関連した分野の団体が展示を行い、市民に向けて活動を紹介しました。

## 登録団体との協働事業

- ららポート交流事業「らら♪まつり」の実施

登録団体が一堂に会し「市民へ団体の公益活動をアピールする」ことを目的として実施。運営委員会を立ち上げ、企画・運営を協働で行いました。

# 市民公益活動団体「ほたる」有賀 健さん に聞きました

「人生三部説」今、自分は人生の第三部、**いかに生きるべきかを考え、社会に返す時代**を楽しんでいる。人生の第一部は、社会人として育つ家庭教育の時代。父は職業軍人、母は教師で躰は厳しかった。家族でよく博物館や動物園に行き、自然観察では草花の名前を教わり、昆虫採集をするなど自然に親しんで育った。昭和33年、中学3年生の時に家族で生駒に越してきた。当時は田畑が広がりホタルもたくさん飛んでいて、「生駒の自然は豊かだな」と感じた。

人生の第二部は、社会人として働く時代。1ヶ月に250時間の残業をこなし、家には寝るために帰るだけの生活、まるで“はたらき蜂”のように働いた。仕事では、新しいアイデアや発想をだせばそれを担当させてもらえ、自分が“面白い”と思うことをすることができた。在職中に、当時の自治会長から「役員をひきうけてくれないか」と声がかかった。定年を前に「**自分には、両親や家族が世話になってきた地域への義務がある**」と考え、自治会での役を引き受け、自主防災会の立ち上げにも参加した。

定年退職後すぐの平成19年、生きいきセンター主催の「地域ボランティア講座」を受講する。終了後みんなで集まり、その後の活動について時間をかけて話し合った。「自然環境に興味がある。ホタルが飛び交う環境づくりをめざそう」と決まり、翌年、市民公益活動団体「ほたる」を立ち上げた。ホタルの生態については漠然とした知識しかなく、みんなで1から勉強を始めた。

「ほたる」は平成21年度と22年度、生駒市まちづくり活動支援事業に事業提案をし、補助金の交付を

受け、河川の水質調査、カワナナやホタル幼虫の生育実験などを行った。他の団体との情報交換や市民への意識向上と活動への理解をめざし「ホタルファンクラブ」を立ち上げるなど今後も活動の幅を広げていく。

同じ頃、奈良商工会議所が主催する“奈良検定(奈良まほろばソムリエ検定)”を受験する。もともと地理や歴史に興味があり、奈良の原風景には静かな魅力があると感じていた。だが机上の学問だけでは自分に合わない、人に向けてしゃべるという状況に追い込めば自ずと勉強し身につくと考え、観光ボランティアとして活動を始めた。型にはまったガイドではつまらないと“有賀流”にアレンジし、奈良の良さ、歴史を伝えている。

人生の第一部から積み重ねてきた学びと経験、奈良の歴史・風景と環境、第三部で活動を初めてから地域で結ばれた地縁と、活動することで結ばれた志縁、“**全ては繋がっている**”と考える。

若い世代へ「学生は学業が本分“食わず嫌い”をせず幅広く学んでほしい、また、本だけの勉強ではなく**実際に見て体感して学んでほしい**、そして社会人になったら社会貢献に活かしてほしい」

一時は「ほたる」の他、自治会やボランティアガイド、生駒市環境基本計画策定委員など9つの活動をかけ持ち多忙だったが、これからはいくつかにしぼって続けていくつもり。地縁・志縁で繋がりが、いろんなことに興味を持ち、デスクワーク×体感主義、型にはめない“有賀流”で取り組む活動は、人生の第三部として「**今の自分にフィットしていて幸せ**」と笑顔で語る。

## 登録団体イベント情報

### いこま棚田クラブ 西畑町で「菜の花まつり」

<日時>4月17日(日)午前10時30分～午後2時30分  
<場所>西畑町棚田(水車の周辺) 雨天決行  
<対象>どなたでも自由参加 <内容>菜の花鑑賞、オカリナやハーモニカ演奏、地元産物販売、野草のてんぷら試食、ミニとんど、棚田散策など <参加費>無料  
<問合せ>いこま棚田クラブ・新居さん TEL:0743-75-4486

## 登録団体イベント情報

### NPO法人いこま国際交流協会 国際交流ひろば「テディクラブ」

<日時>5月14日(土)午後1時～2時30分  
<場所>俵口町自治会館 <対象>市内に住む幼児と小学生(幼児は保護者と参加して下さい) <内容>外国人市民スタッフと一緒に楽しく体験学習します<定員>20人程度(抽選制) <参加費>200円 <問合せ>李和子(イ ファジャ)さん  
TEL/FAX:0743-78-6491、e-mail:info@ikoryu.net

## 編集後記

絆・縁・仲間・関係・交流・ネットワーク……人と人の繋がりを表す日本語は色々あります。今回「ボラボー」で、人は人とのつながりだけでなく、歴史や自然、環境など全てが繋がっているという話をうかがい、目が覚める思いでした。人はたくさんの繋がりのなかで生きているんですね。<ふ>

## ■生駒市市民活動推進センター ららポート

〒630-0257 奈良県生駒市元町1丁目7番6号

TEL:0743-75-6000 FAX:0743-75-0151

e-mail: [lalaport@city.ikoma.lg.jp](mailto:lalaport@city.ikoma.lg.jp)

開館日時 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

休館日 日曜日・祝日・年末年始

※オストメイトトイレがあります

※公共交通機関でお越し下さい



●ららポート登録団体 56団体 [構成人数 1,834人] (3月1日現在)